



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ 湯河原ロータリークラブ 週報



2022年12月2日(金) 第2899回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

過日のポールハリスフェロー受賞
内容の説明をさせていただきます。

柴崎 AG から教わりました。

まず伊藤会員のルビー1ケですが
これは財団寄付7000~7999ドルの

方に授与されるものだそうです、現在1\$140円くらいですから、伊藤会員は財団に100万円以上寄付した事になります。深澤会員はサファイヤ1ケですから、2000~2999ドルの寄付だそうですので、35万円くらいでしょうか。ちなみにルビー3ケだと9000ドルだそうですので、130万円でしょうか。お二人ともすごいですね。ほんとおめでとうございます。なんといっても健康だから達成できるんでしょうね。健康とロータリーに感謝ですね。

ちなみに柴崎 AG も知らなかったそうで、ロータリー百科事典で調べて教えてくれました。奥が深く、柴崎 AG は、死ぬほどロータリーを愛している人でないと知らないですよ、とっていました。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.12月のロータリーレート 1ドル138円

連絡事項 有志忘年会・新年懇親会日時は下記の通りです。

有志忘年会 12/16(金) 18:00 開始 会場:ホテル城山

会費 10,000円 二次会あり

※全国旅行支援活用のため、参加には「ワクチン3回以上接種証明書」または「陰性証明書」が必要です

新年懇親会(移動例会) 2023/1/6(金) 会場:ホテル城山

理事会 17:30 開始 例会 17:45 開始

新年懇親会 18:00 開始 会費 10,000円 二次会あり

出席報告

会員	23 名	出席率	75.00 %
欠席	8 名	前回の修正出席率	84.21 %
(免除者)	3 名	前々回の修正出席率	80.00 %
ゲスト	0 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

スマイル Box

安江仁孝君

新婚旅行第2弾で、石垣島に行って参りました。美しい青緑の海に魅了されっぱなしでした。一方で帰ってきてから、湯河原の風土にかけがえのなさに気づくこともできました。

安江仁孝君

サッカーワールドカップ2022、日本代表ベスト16進出おめでとうございます。次の試合は12月5日月曜深夜24時キックオフ、相手はクロアチアです。

クラブ年次総会

クラブ年次総会では、会長より次年度以降の会長についての説明があり、「会長エレクトは既報通り佐藤友彦会員に、会長ノミニ(次々年度会長)には高杉尚男会員にお願いする」方針が報告されました。総会内では高杉会員より、会長ノミニ受諾に関し、これまでガバナー補佐や周年記念式典実行委員長などを歴任した関係から、通算2度目となる会長受諾のタイミングが訪れなかったこと、昨今本業での職務も含めて少し落ち着いたことから受諾に至ったこと、会長就任時には改めて会員の協力を賜りたい旨の説明がなされ、場内は万雷の拍手に包まれました。総会内ではこのほか、病欠していた葉会員からの復帰の報告などもありつつ、終始和やかなムードにて終了しました。(文:会報委員会)



写真: Chantal Mistral

曲がりくねった山道を走り、バリケードや軍検問所を通過し、土砂降りの雨に遭いながら列を成して走る約 40 台の救急車。向かう先は、ウクライナのキーウ。

これらの救急車は、ロータリーと Ukraine Friends との初の合同プロジェクトによってウクライナに届けられるものです。60 万米ドルをかけたこのイニシアチブで、両団体が 30 万米ドルずつ寄付して救急車を確保し、ウクライナとスロバキアのロータリー地区が引き渡しの手配を行いました。Ukraine Friends は、7 月にロータリーとの協力を同意し、ロシアとの戦時下にあるウクライナの人びとを支援するプロジェクトへのリソース提供、諸手配、資金の配布に協力します。

通常の 2 倍の時間をかけて約 879Km の旅を終えた一行は、9 月 27 日にキーウのマリンスキー公園に到着。

ストーン・ロータリークラブ(米国バージニア州)の会員である Ukraine Friends の CEO ブロック・ビアマン氏によると、国境を越えて、ましてや戦闘地帯にこれほど多くの車両を運ぶ手配は、非常に困難で複雑だと言います。それでも全車両が無事に目的地に届けられました。

マリンスキー公園で一行を出迎えたビアマン氏はこう述べます。「これ以上ないというほどスムーズに進みました。まさにチームワークの賜物です」

Ukraine Friends が救急車の運転手を確保し、ロータリー第 2232 地区(ウクライナとベラルーシ)が燃料を購入。これらの救急車には、酸素ボンベ、除細動器、心電図検査機、人工呼吸器といった医療機器が備わっています。

これらの救急車のうち、チェコ共和国とスロバキアのロータリークラブが購入した 18 台は、民間の使用を目的としてウクライナ保健省に届けられました。救急車の引き渡しに立ち会った保健省のイーホル・クジン次官は、次のように話します。「最新設備を備えた救急車を確保することは、ウクライナのアジェンダの最緊急項目の一つです。非常に重要な支援を行ってくださっている国外のドナーやパートナーの方々に、心から感謝しています」

Ukraine Friends が提供した 22 台の救急車は、ウクライナ領土防衛隊に寄贈されました。

ロータリー会員と Ukraine Friends はさらに、爆撃で破壊されたブチャ地方の二つの学校の再建でも協力しています。Ukraine Friends が学校インフラの再建を手配し、ロータリークラブが図書、学用品、パソコンを購入・寄贈しています。

ウクライナ・ロータリーE クラブ会員で第 2232 地区パストガバナーであるミコラ・スタビリャンコ氏によると、この救急車プロジェクトは、消防車などの救急車両の設備を整えるために複数のロータリークラブが実施している包括的プログラムの一部です。「パートナーシップを組んで活動すれば、より大きな効果を生み、危機的な状況でもより効果的に計画が立てられます」(スタビリャンコ氏)

ビアマンさんもこう言います。「Ukraine Friends とロータリー、それぞれが持つ人脈を合わせることで、ウクライナの人びとの苦しみを和らげるために大きなことができます」

国連難民機関によると、2 月 24 日にロシアがウクライナに侵攻して以来、1,300 万人以上のウクライナ人が自宅からの避難を余儀なくされ、人道的危機が生じています。戦争の勃発以来、ロータリーは 353 件の災害救援補助金(合計 1,170 万ドル以上)を授与し、被害を受けた国内外のウクライナ人を支援するために、29 カ国のクラブのプロジェクトで活用されています。これに加え、食料、シェルター、医薬品、衣服などを提供するために、ロータリークラブとローターアクトクラブがさらに数百万ドルをウクライナのクラブに直接寄付しています。

(2022/10/31 付 My Rotary 掲載記事です)

(文・編集:常盤孝司(12月会報担当)/クラブ会報委員会)